

第 22 回旭川流域連絡協議会（本会）議事録

日 時：平成 19 年 3 月 9 日（金）10:00～12:00

場 所：美咲町役場

参加者：岡山市、赤磐市、吉備中央町長、美咲町長、真庭市、岡山県備前県民局、岡山県美作県民局、AR-NET
岡山県土木部河川課、国土交通省岡山河川事務所

欠 席：久米南町、新庄村、鏡野町

1. 開会挨拶

【美咲町長 奥村氏】

皆様、おはようございます。美咲町長の奥村でございます。本日は、第 22 回旭川流域連絡協議会本会のご案内を申し上げましたところ、皆様方には大変ご多忙な中にも係わらず、ご遠方のところ朝早くからお越し頂きまして、大変有り難うございました。また、平素は当協議会に対しまして、色々とお心遣い・ご協力を頂いております事に、誠に厚く御礼申し上げます。

ご案内の様に、本年は、大変暖冬の冬でございまして、いささか四季を失った様な感もございしますが、昨日、一昨日と少し気温が下がりました、今日また、春が来たのかなと言うような天候でございます。特に今年は雪が少ないというような事で、夏期の水につきましても、既に全国的にも心配をしているところでございます。また、この反動が大きく梅雨時期に来て、長雨や大雨が降るような事がございまして、我々のこの流域、大変心配をするところでございます。いずれにいたしましても、いささか気象状況が怪しくなっているのも、地球規模で考えていかなければならない時期に来ているのではないかと思っているところでございます。

私事でございますが、私も昨日、一昨日と議会の一般質問がございまして、この美咲町周辺の環境問題も、住民の方々から非常に敏感にご質問等・ご指摘を頂いているところでございまして、皆様方もこの点では色々とお心を遣っていらっしゃる事と存じます。

さて、本日の会議でございますが、岡山県の市町村合併も落ち着いたのではなかろうかというふうに言われておりますが、かつて 78 市町村ございましたのが、27 市町村に減少という事でございまして、今回、最後の合併で建部町と瀬戸町が岡山市と一緒になられて、先だっても式典が盛大にとり行われたところでございますが、そういった中で合併による規約の改正、また、この会議の平成 18 年度の予算、並びに平成 19 年度の当初予算等、ご審議を頂くよう用意しているところでございます。また、地域の防災体制、環境につきまして、各関係者の情報の提供等も頂きながら、勉強も重ねたいと思っております。

いずれにいたしましても、この情報を基に流域の防災、そしてまた活性化の為に相互の知恵をしばって、この会議が有意義な会になりますように努めてまいりたいと思います。これから会議に入らせて頂きますが、スムーズな会議の進行をよろしくお願いたしまして、私の開会のご挨拶に代えさせて頂きたいと思います。

2. 議事

討議事項

配布資料の議事次第に基づき、以下の討議事項について会議を行なった。

1) 規約関係

【事務局】

・規約改定(案)

瀬戸町、建部町の岡山市への合併により改定

瀬戸町・建部町を削除し、岡山市に瀬戸支所・建部支所として追加
幹事会ブロック名変更の提案

「岡山・建部・真庭」の各ブロック名を「下流・中流・上流」へ
事務局メールアドレス変更

【質疑・応答】

特になし

2) 予算関係

【事務局】

・平成18年度 決算報告(案)

【岡山県土木部河川課】

・会計監査報告

【事務局】

・平成19年度 活動計画及び予算案

【質疑・応答】

【事務局(宮崎副所長)】

補足だが、幹事会では予算案について意見が出ている。

全体額30万という基盤があり、それを国・県で50%、流域で50%という比率を

基本としているが、今まで3回ほど合併を繰り返しているのに、国・県と市町村のバランスが崩れているのではないかという意見もあった。しかし、基本的に国・県の持ち分と流域市町村の持ち分を折半しているため、これでご了解願いたいという事で幹事会ではお話ししている。

【美咲町長】

負担金については、昨年既に了解頂いているところだが、合併で内訳が変わっている。先ほどの規約の話題でもあったように、上流・中流・下流と分けた時に、これで均衡がとれているのか、という疑問もあると思う。

特に岡山市、赤磐市、真庭市の負担が大きくなっているのに、少し不自然さがあると思うが、今年はこれで了解頂けるだろうか。

【応答】

特になし

3) 地域防災体制構築の取組みについて

【事務局】

- ・ 新規モデル地域の活動経過報告
- ・ 平成18年度水防災研究会の開催報告
- ・ 来年度の新規モデル地域推薦のお願い

【質疑・応答】

【岡山河川事務所長】

昨年度、「防災マップをつくろう!!」という冊子を作ったが、今回はそれを活用したことと思う。使い心地や、改善点についての意見は出ていないか。

【事務局】

現在、アンケートを取る予定にしており、これから意見の集約をしていきたい。実際使っている中で改善したい点などは出ており、改良していきたいと考えている。

4) 情報提供

-AR-NETからの情報提供-

【AR-NET】

- ・ 今年度の活動報告

・来年度の連携事業予定と協力のお願い

【質疑・応答】

特になし

-河川環境連絡部会関連情報-

【事務局】

・観光みらいプロジェクトについて

【質疑・応答】

【美咲町長】

旭川ダムでブラックバスを釣る大会を年に1回開催しているが、活性化に向けた良い方法は何かあるだろうか。この様な大会は、観光には含まれないのか。

【事務局】

イベントの作り方だと思うが、広報活動を上手くやれば良いのではと思う。

しかし、生態系上ブラックバスは、外来種であるため撲滅しようという意見もあり、美咲町のように上手く活用して地域振興に役立てる方法もあるので、また相談したい。

【美咲町長】

釣ったブラックバスは持って帰って頂くという事で、撲滅に協力させて頂いている。全国から集まって頂き、盛大に開催させて頂いているので、よろしく願いしたい。

【吉備中央町長】

この様な事業をするために、資金面ではどのような支援になるのか。

【事務局】

自治体での協議会の設置が必要であり、実施主体はあくまでも市町村である。今回の「グラウンドワーク真庭設立準備会」の例を見ると、活動に必要な経費という事で少しは支援できる事になっている。他にも総務省の補助などがある。国土交通省では、中国地方整備局の企画部広域計画課が担当しており、相談して頂きたい。

まず計画作りから自治体が動かなければいけないという事だが、その様な働きかけをして頂ければ、支援出来る範囲でやっていきたい。

【岡山河川事務所長】

今回の「グラウンドワーク真庭設立準備会」の場合は、国土交通本省に活動に関する

申請を出されており、活動に必要な経費として510万円、そのうち国土交通省の支援が350万円である。先般「グラウンドワーク真庭設立準備会」が「補助金がもらえるが、どのように使えば良いか？」という相談に事務所にいらっしゃった。

それから、例えば、美咲町長からブラックバス釣り大会はどうだろうかというお話があったが、この旭川流域連絡協議会でも、28ページの地域活動支援（環境活動）10万円というものが計上されている。次年度の予算の中で来期の活動支援としてどのような活動を対象とするかという議論はしていないが、可能性としてはこの中に入るのではないかと考えている。

【真庭市】

先ほど事務局から、あくまで事業主体は市町村という発言があった。真庭市の担当窓口は杜市づくり推進課だが、昨年7月24日に事業申請をする際に「こんなことを考えている」程度の話があり、真庭市としては正式な申し入れは無いが、11月29日に再度支援ができるものについては支援をするという事で、あくまでも事業主体は「グラウンドワーク真庭設立準備会」である。

それに対して真庭市としては、自主的な市民活動を支援するという形で関わっていくという方針である。また支援を進めていくと、観光に関係する場合もあり、それぞれ観光振興課や担当課が支援する状況になっており、先程説明されていたのとは実情は少し違う。

【事務局】

申請に当たっては、真庭市にも話が入っていると思うが、元々支援をする事自体、NPOだけではいけないという事になっている。今後、真庭市、新庄村に色々話があるかと思う。よろしくお願ひしたい。

【真庭市】

承知した。

【美咲町長】

いつ頃から準備されていた事業なのか。

【真庭市】

昨年7月24日に相談があったという事は聞いている。それ以外の申請書は国土交通省に出していると思う。

【美咲町長】

新庄村も一緒に支援しているのか。

【真庭市】

担当窓口ではないので、新庄村の事は聞いていない。

【事務局】

現在、徳永さんという「観光カリスマ」と呼ばれ、国土交通省に認定されている方が主体的に動かれている。真庭遺産研究会のお世話をされている方なのだが、まず、この第3次募集については平成18年6月に開始、7月の締切りで提案して頂いている。いま現在は構想を練っているところで、それについて助成を受けている。3月10日が報告書の締め切りになっているが、ここに書いてある様な形で、今後の「観光みらいプロジェクト」の事業展開をやっていきたいと、国土交通本省に構想の報告書を提出して、来年度から具体的にシンポジウム等を始められると聞いている。できれば夏ぐらいには一回集まって頂き、このプロジェクトの趣旨等を説明し、皆様方に理解を得ながらこれを実現していくという格好で、徐々に構想を具体化させて進めていかれると聞いている。

【美咲町長】

真庭市からコメントを頂いたが、他にコメントはないか。

【真庭市】

直接担当課ではないのでよく判らないが、真庭市としては「支援できるものは支援していく」と担当課より聞いている。資料提供や会場の使用申請などがあれば、支援をするようだ。

【美咲町長】

これは、行政を通じて申請するのではなくて、市民団体だけでも良いのか。

【事務局】

現在、テーマごとに全国から申請が出ている。申請は個別の団体からでも出来るが、本格的に動き出す事業として認可する時には、どうしても自治体のサポートが必要となる。

その中で、有識者である旅行事業者や交通事業者等の観光関係事業者、NPO等の関係団体の代表、地元関係者、関係市町村職員、都道府県職員、関係市町村が協議会の構成員として必要と判断する方々で協議会を構成するという事で、その協議会でまとめなければならないという事になっている。

【美咲町長】

これについて他に質問は無いか。

【吉備中央町長】

質問では無いが、今、総務省が「頑張る地方応援プログラム」の説明をしており、岡山県には4月28日に総務大臣が説明をするという事だ。いずれ我々も意見を出す事になると思うが、このプログラムとの関連はあるのか。

総務省は新しい事業という事で、具体的なものはまだ無いのかもしれないが、省庁は違っても同じような事業があり、それぞれ別々に話が来るので引き受ける側は困惑している。出来れば一本化する等、省庁間の調整をお願いするという事だけ申し上げておきたい。

【美咲町長】

今、吉備中央町長が発言されたように、各省庁が色々な地域振興プログラムを持っている。経済産業省なども観光業者など、色々な都会との交流事業をすれば5000万、1億という予算を組むといった、地方行政を飛び越して申請されている様なものがある。

地方行政が内容を十分に把握できない間にプログラムだけが動いてしまい、補助金だけは置いていくという事もあるようだが、我々地方自治体としては、こんなにお金が有るのであれば、もう少し本来の予算で使わせて頂ければ良いのと思う事がある。

【事務局】

基本的には底上げといいますが、地方に後押しを、元気になって頂くようにという事で、本来の事業とは別にフォローしているという事だと思う。総合政策局も観光地域支援というような格好で取り組んでいる。

【美咲町長】

厚生省は「地域の健康づくり等」という予算を使って、町議会へ呼びかけをして予算が配布されたという事があったが、その様な動きがあれば、我々行政も気が付くのだが。

【事務局】

国で支援するという事が54ページの「はじめに」の中に書いてある。そういう提言を受けて、各省庁の分野でやっっていこうと展開している。

【岡山河川事務所長】

今回、真庭という固有の土地の名前しか出ていないが、先般、観光カリスマの徳永さ

んや関係の方々とお話をさせて頂いたところ、真庭だけのエリアを限定して考えている訳ではない様だ。ただ、最初の申請段階で、手広くやりすぎても難しいという意向もあった様だ。61ページの提案書の「提案内容」の5、6番目をご覧頂くと、「河のエコミュージアムによるリバーガイドシステムづくり」あるいは「河川観光ツアー（“河の遺産”を巡る旭川の旅）の開催」というのは、真庭の川だけではなく旭川全体をある程度視野に入れて考えているようだ。これからどのように展開して行くのかということにも拠るが、この旭川流域連絡協議会は旭川流域全自治体の方々にお入りいただいております、その際には旭川流域連絡協議会としてもバックアップできる範囲はあるのではないかと考えており、この情報提供をさせて頂いた。

【事務局】

- ・川を活用した環境教育の一層の推進について

【質疑応答】

特になし

【事務局】

- ・H18 水質事故発生状況
- ・てっきり復活大作戦について
- ・岡山河川事務所の伐採木の有効活用について
- ・旭川における植生管理手法の検討

【質疑応答】

特になし

-災害情報連絡部会関連情報-

【事務局】

- ・洪水等に関する防災情報体系の見直しについて
- ・河川道路統合型地域防災情報について
- ・潮位情報提供システムについて
- ・水防専門家派遣制度の創設
- ・吉井川水防演習について

【事務局】

- ・昭和9年9月室戸台風 浸水表示について

- ・洪水ハザードマップの作成の促進等について（通知）
- ・洪水ハザードマップ作成の手引き（概要版）
- ・岡山三川氾濫シミュレーションについて

【事務局（岡山県土木部河川課）】

- ・水位情報周知河川追加指定の予定について

【質疑応答】

特になし

【総括的に質疑応答】

特になし

3. 閉会挨拶

【事務局】

それでは、これもちまして、第22回旭川流域連絡協議会を終了させていただきます。なお、次回につきましては、平成19年5月初旬頃を予定しておりますので、万障お繰り合わせの上またご出席いただければと存じます。よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

【岡山河川事務所長】

皆さまお疲れさまでした。本日お配りいたしました「河川情報システム」のご案内のシールと、「河川災害についての用語が変わります！」のポスターをぜひご活用いただきたいと思います。もしご入り用であれば追加でご用意させていただきますので事務局の方までご連絡いただければと思います。基本となる用語なり情報なり言葉が網羅されておりますので、ぜひよろしく願いいたします。ありがとうございました。

以 上